

1. 計画名称

林業振興ビジョン

2. 計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	やや遅れている	説明	コロナ禍の影響で、集まるとの会議や、みどりの少年団活動などが実施できていことがあり進捗状況に遅れが出てしまっている。森林整備事業についても、豪雨災害により林道の復旧に時間を要してしまい、予定していた森林整備面積がすべて整備できない状況です。推進部会等で意見をいただきながら目標達成に向け事業推進を継続している状況です。
今後の重点化施策番号	1	説明	森林環境譲与税を活用した森林経営管理制度に基づいた意向調査を実施方針に沿ってすすめ、森林整備へとつなげていく取組を継続させていただきます。また、県補助金(森林税事業)の継続を県へ要求し、森林整備の財源を確保し森林整備を推進する。

3. 各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	多様な森林整備及び環境保全の推進	やや遅れている	里山整備を推進するために、協議会が事業主体となり、間伐や支障木伐採の里山整備が実施できた。森林環境譲与税を活用し、茅野市森林経営管理事業で森林整備を実施できた。引き続き要望箇所の里山整備や森林経営管理制度の意向調査を進め森林整備へ繋げていく取組を行っていく。	森林整備の未整備箇所がまだまだ多くあるため、森林環境譲与税を活用した、森林経営管理制度の手法を利用し、森林に対する意向調査を実施し、森林整備への住民理解を得られるよう、説明会等を実施していき制度の周知が引き続き必要となる。	森林環境譲与税を活用した森林経営管理制度に取組み、未整備となっている個人所有林の整備を実施することで更なる森林整備を推進する。意向調査を計画的に実施し森林整備へ繋げていく。
2	間伐材の利用促進及び森林資源の有効活用	やや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・間伐材から作られた木質ペレットの消費拡大を図るため県と連携しペレットストーブの購入補助を実施(5台を補助)</li> <li>・間伐材を活用した木質チップを施設のボイラーの燃料に使用(鹿山地区もりぐらし)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市域全体の森林から発生する間伐材の利活用方法の確立。</li> <li>・主に切り捨て間伐により山に放置された間伐材の利用について消費できる方法の模索。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・林業振興ビジョン推進委員会により間伐材の活用方法について調査研究を行う。</li> </ul>
3	森林づくりを支えるための教育活動	やや遅れている	昨年実施されていた、みどりの少年活動が新型コロナの影響を受け実施できなかったが、永明寺山学有林活動として、永明小学校の児童による森林作業や里山整備利用地域活動推進事業を活用した北山小6年生による植樹体験等が行われ、活動を通して森林の学びの取組となった。	植樹体験等の作業を通じ、林業や森林に対しての意識改革へどのように繋げていくかが課題	引き続きみどりの少年団活動を中心に、山や緑を育む催しへの積極的な参加の呼びかけと新企画の検討。

※5つ以上の場合は裏面へ

4. 関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

		主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称	林業振興ビジョン推進部会		
開催回数	2	森林整備について市内の森林は伐期を迎えているため、整備を進める必要がある。なるべく撤出間伐とし地域循環型林業の確立を図ってはどうか。自分の山の境が解らないなど山に関心が少ないなど。	環境譲与税を活用した森林整備を推進することで、整備が遅れている森林の整備を進めていく。また、森林環境譲与税の用途について他取り組みを研究し活用方法を検討していきたい。間伐材の地域循環型林業については、ポテンシャル調査の結果をもとに施策の検討が必要となる。
参加延べ人数	26		
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			

5. 添付資料

別紙「施策評価シート」